

〈展覧会報告〉

改組第六回筑後支部書道教員書作展報告

ありあけ新世高校 虎本 義礼

令和五年八月十七日(木)～二十日(日)の四日間、久留米シティプラザにおいて標記書作展を開催しました。連日三十五度をこえる猛暑のなか、三七〇名の方々にご来場いただき盛会裏に終えることができました。

この書作展は、昭和五十九年(一九八四年)から毎年、福岡県筑後地区高等学校の書道教諭・講師の自己研鑽の場として年に一度開催していましたが、平成二十五年(二〇一三年)の第三十回展を最終展としておりましたが、平成二十八年(二〇一六年)より新たに「改組第一回」として開催する運びとなり、途中コロナ禍による見合わせを経て、今回で六回目を迎えました。

出品者は教員二十一名、OB・OGや筑後地区で指導されていた先生方が十名、また高口指導主事にも賛助出品をいただき、全体で三十二名、出品点数は五十点となりました。

多字数を中心に、漢字の各書体、仮名、調和体、篆刻作品に至るまで幅広い内容で、額・軸装された作品に加えて着物や布、パネルなど様々な素材に表現された作品が並びました。

また、今年も毎回ご好評いただいているご来場者プレゼントとして、ハガキや色紙、団扇や篆刻作品などの小作品を持ち寄り、抽選のうえお持ち帰りいただきました。観覧後のアンケートでは、印象に残った作品とともにたくさんのご意見を頂戴いたしました。



これを糧に、今後も自らの書作品の向上と書道教育の振興・発展に努めてまいりますと考えています。次年度も同じ日程で開催を予定しておりますので、多くの方々のご来場をお待ちしております。